

歩行補助車



【ラビットライトシリーズ】

WR-10 WR-7



ご使用になる前に必ずお読みください。
また取扱説明書は必ず大切に保管をしてください。

目 次

・ 安全にご利用していただく為のお願い	3 ~ 4
・ ラビットライトシリーズご購入時のご注意	5
・ ラビットライトシリーズ各部名称・仕様表	6 ~ 7
・ 前腕支持台の高さ調整	8
・ 前腕支持台の使用・ブレーキの使用	9 ~ 10
・ スピードコントローラーの使用	11
・ 座面と前腕支持台の使用と注意点	12
・ 持ち運び・収納の仕方	13
・ ブレーキ調整の仕方	14~15

〔安全にご利用していただく為のお願い〕

- ・ご使用の前に必ず「安全上のご注意」と「使用上のご注意と警告」をお読みください。

警告!

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負ったり、製品の破損に繋がる恐れがある可能性が想定される事を示します。

注意!

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負ったり、製品の破損に繋がる恐れがある可能性が想定される事を示します。

禁止!

この表示のある項目の行為は絶対におやめください。
重大な事故に繋がります。

※取り扱い説明書をお読みになった後は、ご使用時にいつでも読むことが出来るところに保管してください。

警告!

- ・ご利用の際、必ず医療機関、介護支援専門員、福祉用具専門相談員などに相談してご使用ください。
- ・使用前に各部のネジ・ボルトの緩みがないか確認をして下さい。事故、破損等の原因に繋がります。
- ・認知症の方が使用される場合は、介護者の付き添いが必要です。
- ・説明書に明記されている内容と異なる使用をすると、ケガ等に繋がる恐れがありますのでお控えください。
- ・ブレーキレバーに必要以上に力を掛けすぎると、ブレーキレバーの破損に繋がる恐れがありますのでご注意ください。
- ・走行時にパーキングブレーキが解除されているか確認してご使用ください。
- ・座面を使用する場合、必ずパーキングブレーキを掛けてください。また、傾斜地での座面の使用はしないでください。
- ・座面に立ち上がったり、踏み台代わりには絶対ご使用にならないでください。また座面に人を乗せたまま移動しないでください。
- ・エスカレーターにお乗りの際の使用はお控えください。
- ・お子様に触れられない様ご注意ください。思わぬ転倒や破損に繋がります。
- ・不要な分解や改造などは行わないでください。
- ・ネジ・ボルトの締め付け部分に潤滑油を塗布しないでください。走行中にネジ・ボルト類の緩み脱落に繋がります。
- ・輸送時にラッピング等で本体を締め付けると変形する恐れがありますのでご注意ください。
- ・製品をお手入れする際は、刺激の強い薬品等を使用しないでください。
- ・火気の近くに置かないでください。キャスター・前腕支持台・バック等が燃え火災の原因になります。
- ・故障や破損した場合はただちに使用を中止し、販売店または弊社へご連絡ください。
- ・この製品は歩行補助車です。他の用途でのご利用はおやめください。

注意!

- ・ラビットライトシリーズをご利用される場合、耐荷重範囲内(100kg)でご利用ください。
- ・本体を落下させたり強い衝撃が加わると、本体が破損または変形しますのでご注意ください。
- ・歩行時は必ずハンドルを握ってご使用ください。ハンドル以外の部分を持って歩行しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- ・ブレーキをロックしたままご使用にならないでください。キャスターの摩耗・転倒の恐れがあります。
- ・パーキングブレーキをご使用中でも本体は若干前方向に動く事があります。パーキングブレーキをご使用状態でキャスターにブレーキが掛かっており、キャスターが回らない状態であれば正常な状態であり、不具合・故障の類では御座いません。
- ・前腕支持台の片側に極端に荷重を掛けると、左右のバランスが崩れて転倒に繋がりますのでご注意ください。
- ・座面から立ち上がる際、前腕支持台に手を掛けながら立ち上るのはおやめください。転倒破損に繋がる恐れがあります。
- ・前腕支持台を降ろす際は指を挟む可能性があるので、十分注意して操作してください。
- ・ハンドルの高さは、必ず左右同じ高さにしてください。破損したりバランスを崩して転倒の原因になります。
- ・アウターパイプが物に引っ掛かる恐れがあるのでご注意ください。
- ・本体を横向きに倒して上に物を置かないでください。
- ・室内でご使用の際、壁や家具等を傷つける可能性があります。十分に注意して走行してください。
- ・段差や凸凹のある路面を歩行する際は、転倒しない様ご注意ください。
- ・水や泥などがある悪路、また雨や雪・風の強い日などの悪天候では使用しないでください。
- ・気温の高い場所及び夏期屋外でご利用される場合、前腕支持台の表面が熱くなる可能性がありますので、直接素肌でのご利用はご注意ください。
- ・ラビットライトシリーズを使用し、電車・バス等の公共交通機関をご利用される場合は、くeregureもフロアーや道路及びそれらとの繋ぎ面等のすきまへキャスターがはまり込まない様注意してください。転倒して事故の起こる可能性がありますのでご注意ください。
- ・交通量の多い所、混雑している所、また夜間での使用は出来るだけお控えください。もし使用される際は、必ず付き添いの方と一緒にご利用ください。
- ・急勾配な場所では絶対に使用しないでください。
- ・バックに5kg以上の重い荷物を入れないでください。
- ・本体に取り付けてあるバックの中に、折りたたみレバーに接触してしまう位の物を入れないでください。本体が正常に前後に開かず転倒に繋がる恐れがありますのでご注意ください。
- ・本体を横にした際、自重で本体フレームが折りたたまれる可能性がありますのでご注意ください。
- ・折りたたみ自立させた状態で本体に接触すると、転倒の可能性がありますのでご注意ください。また、折りたたみ自立させる場所には充分留意して置いてください。本体が転倒した場合周辺の物や人・生物等へ危害や損害を及ぼす可能性があります。また転倒・転落によって本体が損傷する可能性がありますので十分注意してください。
- ・ご使用後保管する際は直射日光を避け、雨ざらしにならない様保管してください。

ラビットライトシリーズを安全に利用していただく為のお願い

- ・ブレーキが正常に機能しているか確認してください。
- ・キャスター及びブレーキパットの摩耗が無いか定期的に点検し、必要に応じて部品の交換を行ってください。
- ・各部のビス・ナット等の緩みが無いか必ずチェックしてください。
- ・取扱説明書の内容が十分理解でき、製品の各機能を操作できる方のみご使用ください。
- ・折りたたみレバーを下にしっかりと降ろし、本体フレームの前後フレームの前側と後側が完全に開き固定されているか確認してください。

————— [以上の点を守ってご利用ください] —————

【ラビットライトシリーズご購入時の注意】

- ・検品の都合によりキャスターに多少汚れが付いている場合があります。ご了承ください。



- ・スピードコントローラーをご使用中に異音が聞こえた場合は。下記の写真部分（ブレーキ本体カバーのスピードコントローラー）に少量の潤滑油を注してください。



注意! 垂れない程度にご注意ください。

ラビットライトシリーズ《各部名称》

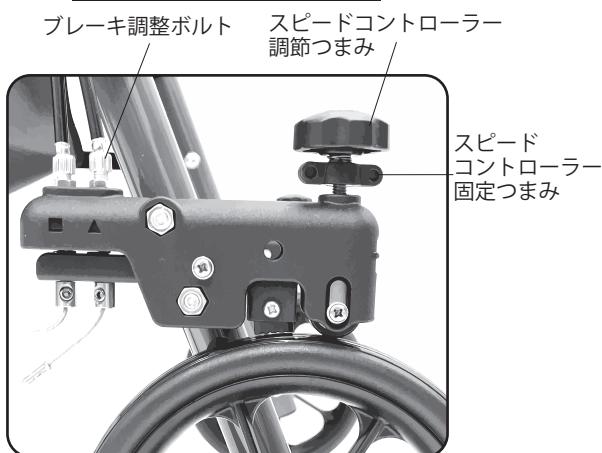
側面部



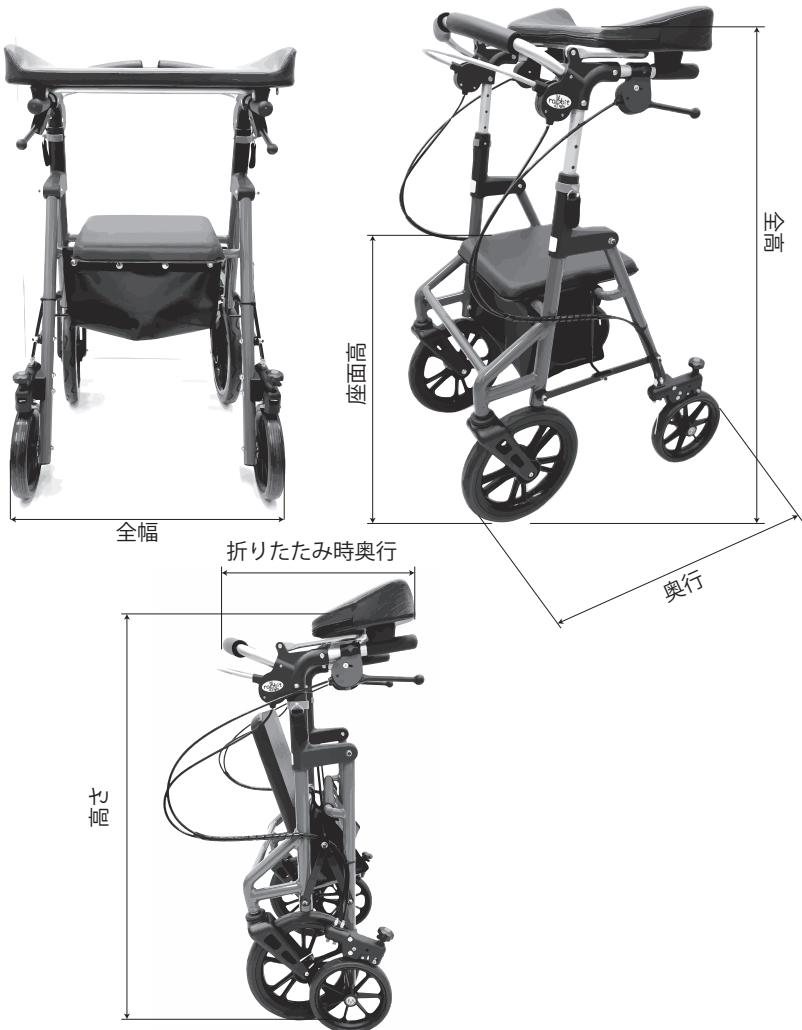
背面部



ブレーキ本体



ラビットライトシリーズ《仕様表》



品番	前輪サイズ	寸法	本体カラー	重量
WR-10-MG	10インチ	全幅 510 × 奥行 600 × 全高 800~1050 mm	モスグリーン	8.5kg
WR-10-IW	10インチ	全幅 510 × 奥行 600 × 全高 800~1050 mm	アイボリーホワイト	8.5kg
WR-7-MG	7インチ	全幅 510 × 奥行 575 × 全高 800~1050 mm	モスグリーン	8.5kg
WR-7-IW	7インチ	全幅 510 × 奥行 575 × 全高 800~1050 mm	アイボリーホワイト	8.5kg

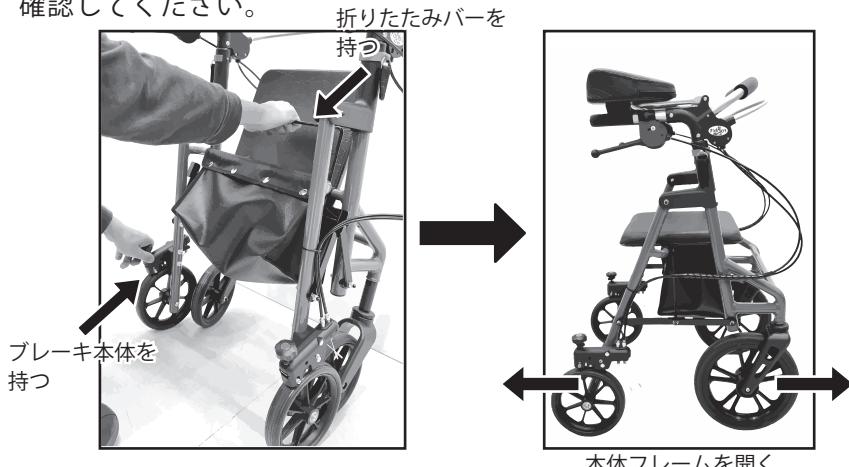
[折りたたみサイズ]

前輪サイズ	寸法
10インチタイプ	全幅 510 × 奥行 410 × 全高 910 mm
7インチタイプ	全幅 510 × 奥行 410 × 全高 910 mm

材質	: アルミ・ステンレス
前輪サイズ	: 10インチ(直径約250mm) : 7インチ(直径約178mm)
後輪サイズ	: 7インチ(直径約178mm)
クッション類	: ウレタン
耐荷重	: 100kg
座面高	: 480mm

[使用方法]

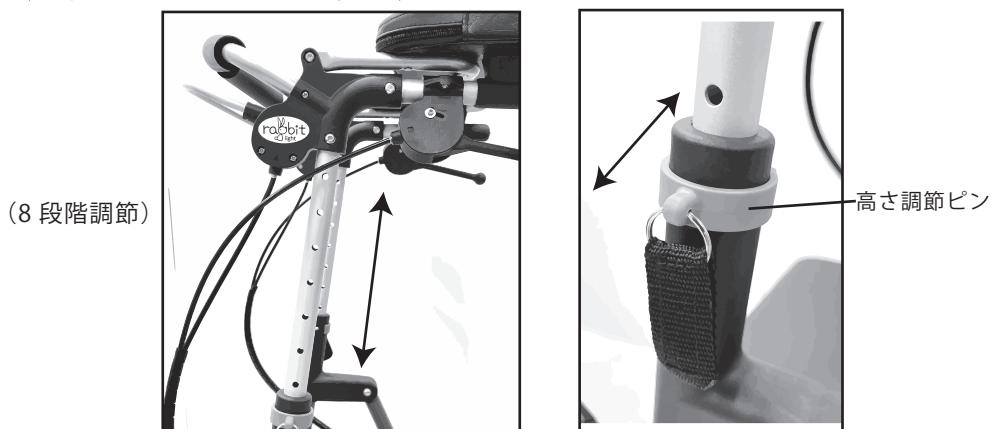
- ・開梱時、本体は折りたたまれた状態です。
- ・折りたたみバーとブレーキ本体を持ちながら本体を開いてください。
- ・折りたたみが解除された後、折りたたみバーが完全に広がっているかを確認してください。



注意!

本体折りたたみの状態で前腕支持台にもたれ掛かると転倒などの恐れがありますので、前腕支持台に体を預けた状態で折りたたみ解除は行わないでください。

[前腕支持台の高さ調節]



- ・本体フレームに差し込まれている高さ調節ピンを引き抜いて、前腕支持台の高さを調節してください。調節後はピンを本体フレームに差し込んでください。

注意!

必ず左右同じ高さにしてください。バランスを崩して転倒破損する恐れがあります。高さ調節ピンは奥までしっかりと差し込んでください。歩行時に高さ調節ピンが物に引っ掛かって抜ける恐れがありますのでご注意ください。

[前腕支持台の使用]



- ・前腕支持台に腕を預けてループハンドルを握りながら歩行してください。

[前ブレーキの使用]



- ・前ブレーキレバーを握るとブレーキが掛かります。
- ・前ブレーキレバーを止まる所まで降ろすとパーキングブレーキがかかります。
(前ブレーキレバーを降ろした際、左右の後輪にブレーキが掛かっているか確認してください。)
- ・パーキングブレーキを解除する場合はブレーキレバーを上に上げてください。

警告！

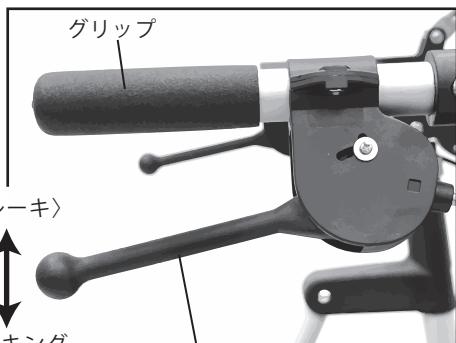
パーキングブレーキを掛ける時、前ブレーキレバーを必要以上に下に押し下げると破損の原因になります。

また、ブレーキレバーに無理な体重を掛けないでください。

警告！



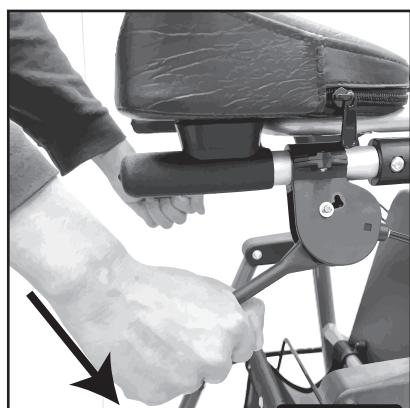
[左右ハンドル・パーキングブレーキレバーの使用]



- ・左右のハンドルを使用して歩行する場合は、前腕支持台を上に起こしてください。左右のグリップのみを持ちながら歩行してください。
- ・パーキングブレーキレバーを握るとブレーキが掛かります。パーキングブレーキレバーを下に降ろすとパーキングブレーキが掛かります。
パーキングブレーキを解除する場合はレバーを上に上げてください。
(※パーキングブレーキは左右連動して動きません)

警告！

パーキングブレーキをかける際、必要以上にレバーを下に押し下げると
レバー部品・ブレーキワイヤーの破損に繋がる恐れがあります。
また、座面から立ち上がる際も同様にレバーを持ちながら立ち上がる
などの圧力をかけると破損に繋がりますのでお控えください。



警告！

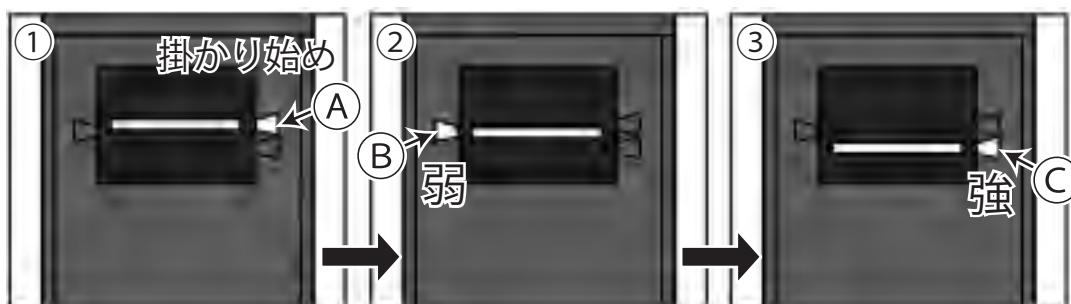


警告！

〔スピードコントローラーの使用〕



- ・スピードコントローラー調節つまみを時計回りに回すと、ブレーキ本体内部にあるゴムローラーがキャスターに当たって抵抗が掛かり、ゆっくりと歩行が出来ます。スピードコントローラー調節つまみを反時計回りに回すとキャスターへの抵抗が弱くなります。
- ・スピードを調節する場合は、ブレーキカバー後方にあるラインを目安にしてください。中央のバーが左右のラインに差し掛かると抵抗が掛かりだし強さが変わります。
- ・調節後は、スピードコントローラー調節つまみを片手で固定しながらスピードコントローラー固定つまみを時計回りに回してしっかりと締めてください。



【スピードコントローラー調節メモリについて】

①スピードコントローラー調節つまみを回すとバーが上下します。

Ⓐのメモリの位置にバーが合うと抵抗の掛けり始めになります。

②Ⓑのメモリにバーが合うと抵抗の強さが弱になります。

③Ⓒのメモリにバーが合うと抵抗の強さが強になります。

※バーがⒶの位置の場合、走行中カラカラ音が鳴る事があります。音を止めたい場合はスピードコントローラー調節つまみを反時計回りに回してバーをⒶのメモリより上の位置に上げてください。

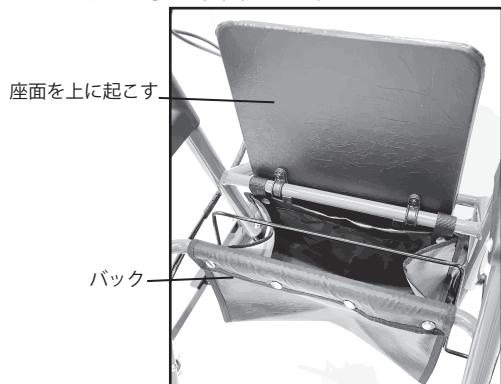
注意!

- ・スピードコントローラー調節時、バーがゲージの上部到達後はそれ以上調節つまみを回さないでください。部品の破損に繋がります。

[座面の使用]



- ・左右のパーキングブレーキを掛け、前腕支持台を上に起こすと座面に座る事が出来ます。

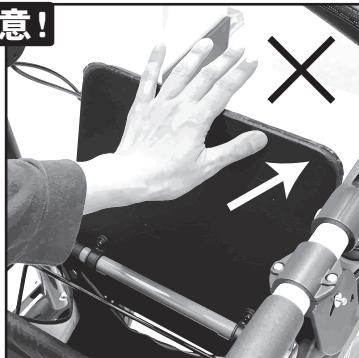


- ・座面を上に起こすと座面の下にあるバックを使用できるようになります。
※バックに荷物を入れる際、入れた物がはみ出して折りたたみレバーを圧迫しない様ご注意ください。(バック積載量：5 kg・容量 8ℓまで)

注意!



注意!



注意!

- ・前腕支持台・座面で手を挟まない様ご注意ください。また、前腕支持台や座面を上に起こした後必要以上に前に押さないでください。
- ・長時間前腕支持台を起こしたままにしておくとループハンドルの発砲チューブが変形する場合があります。

[持ち運び・収納の仕方]



- ・本体を折りたたんで収納する場合、パーキングブレーキを掛け座面をお越し
折りたたみレバーを上に引き上げます。
前輪の向きは 0 度の状態にしてください。



警告!

本体を折りたたむ際は、折りたたみバーなど
手を挟まない様十分にご注意ください。

※折りたたみ及び自立時の注意

本体を折りたたみ自立させた状態での注意事項

- ①キャスターの向きに注意…角度によっては不安定となり本体の転倒の原因
となります。
- ②本体フレームの角度…転倒しない様折りたたみ自立時の角度にご注意くだ
さい。
- ③前腕支持台（ハンドル）の高さ…最上段位置で折りたたみ自立させた場合
不安定になる可能性があります。ご注意
ください。
- ④前腕支持台を起こした状態で自立させると不安定となる場合があります。
ご注意ください。

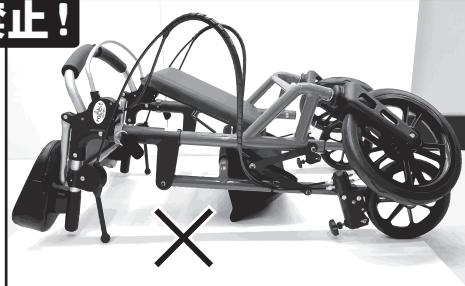
[本体折りたたみ後の収納の注意]

- ・本体を仰向けに置くのはおやめください。スピードコントローラー調節つまみ等の破損に繋がります。
- ・本体輸送時にラッピング等できつく締めすぎないでください。フレームが変形する可能性があります。

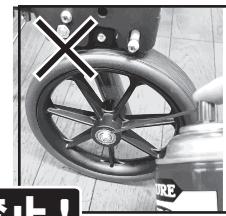
[メンテナンス時の注意]

- ・メンテナンス時に、ネジ・ボルト類に潤滑油等の液体を吹きかけないでください。ネジ・ボルト類の緩み及び部品の脱落の原因になります。

禁止!



※本体を仰向けに置くのはおやめください。



禁止!



※ネジ・ボルト類に潤滑油を吹きかけるのは
おやめください。

[ブレーキ調整の仕方] 出荷時はブレーキ調整済みの状態です



- ・製品を使用してから日数が経過するとブレーキワイヤーが伸びてきたりキャスター等の摩耗によりブレーキの効きが悪くなります。適時ブレーキの調整を行ってください。

※ワイヤーストッパーが緩んでないか確認してください。

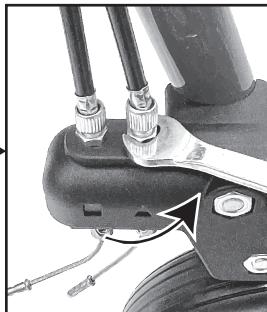
※前腕支持台の高さを上げるとブレーキの効きが弱くなる場合があります。

※ブレーキ調整ボルトの締め過ぎ（左回り）にご注意ください。

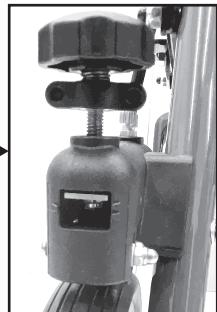
①始めにブレーキ調整ボルトの緩み止めナットを工具（8mmスパナ）で緩めてください。

スピードコントローラーの抵抗を解除してください。

【緩み止めナットを緩める】



【スピードコントローラーの抵抗解除】



②ブレーキ調整ボルトを使ってブレーキを調整します。

ブレーキ本体カバーの▲印の上にあるブレーキ調整ボルトが前ブレーキ調整ボルトです。前ブレーキの強弱を調整出来ます。

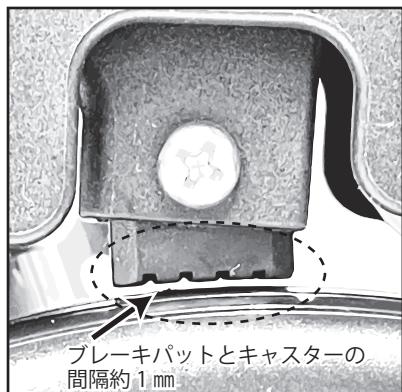
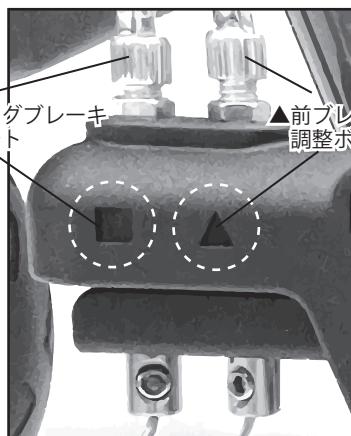
■印の上にあるブレーキ調整ボルトが左右のパーキングブレーキの調整ボルトです。

調節したい調整ボルトを回してください。ブレーキ調整ボルトは反時計回りに回すとブレーキの効きが強くなります。時計回りに回すと効きが弱くなります。

ブレーキパットとキャスターの間隔が約1mm開くくらいに調整します。

※ブレーキの強さを強くし過ぎない様ブレーキバランスにご注意ください。

■パーキングブレーキ調整ボルト ▲前ブレーキ調整ボルト



③ブレーキ調整後に緩み止めナットを工具で締めてください。

前腕支持台の高さの最上段、最下段でブレーキが正常に効いているか確認してください。

※製品の構造上、前腕支持台の高さが高くなるほどブレーキの効きが弱まります。

歩行補助車保証書

型式	
お客様	様 TEL 〒 -
取扱店	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 本体は 1 年間

本保証書は、記載内容の範囲内で無料修理をさせて戴く事を保証するものです。
お買い上げ製品は改良などによりこの「取扱説明書」の内容と一部異なる場合が
あります。

【修理規定】

- 1 本保証書は本体のみの保証書となります。
- 2 取扱説明書、本書注意ラベルなどの注意書きにしたがった使用状態で、保証期間内に故障した場合に無料修理致します。
- 3 保証期間はお買い上げ後一年間です。
- 4 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - *取扱上の過誤、不注意、また不当な修理や改造を加えた場合での故障・損傷
 - *天災地変などの不可抗力によって生じる損傷や故障
 - *タイヤやブレーキローラー等の消耗品
 - *保証書のご提示が無い場合
 - *保証書にお買い上げ年月日、氏名、販売店名の記入、捺印が無い場合
- 5 本書は国内のみ有効です。
- 6 製品の廃棄に就いては各自治体の指示に従って処分、廃棄してください。

本保証書は再発行は致しませんので大切に保管してください。

株式会社ウェルパートナーズ
〒700-0923
岡山県岡山市北区大元駅前 6-21
TEL 086-227-0131
FAX086-227-6132

検査印